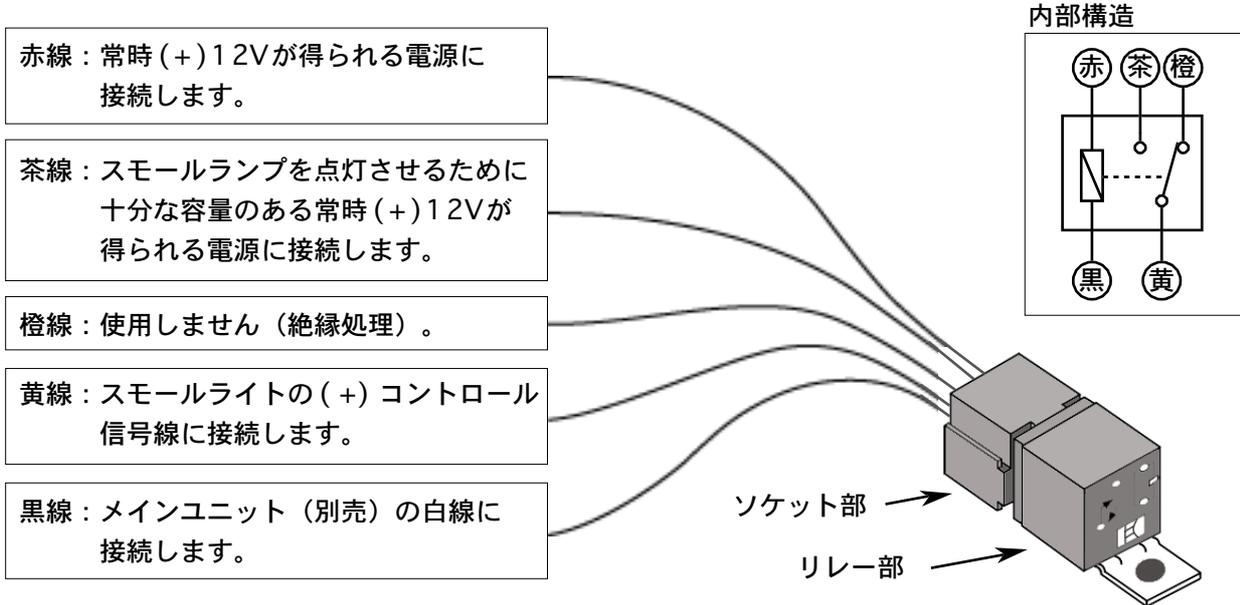


【525T ライトフラッシュリレー説明書】

本製品をライトフラッシュリレーとして使用する場合、セキュリティの動作状態（作動／解除／警告／警報）をスモールランプ（ポジションランプ）の点滅により確認／威嚇できるようになります。

信号系統図



取付位置について

ハンドルコラム周りのパネルを外し、スモールライトのコントロール用の信号線を探します。
制御の極性を確認し、信号線に本製品の黄線を接続します。
(車両側の信号線は切断せず、割り込ませる形で配線してください。)
本製品はパネル内に確実に固定してください。



スモールランプ(+)線の見つけ方

スモールランプの(+)コントロール線は、通常ライトスイッチのつけねや、キックパネル内、エンジンルーム内のライトの裏などにあります。

(+)コントロールは、一般的にライトスイッチからライトに対して(+)12Vを送る仕組みになっています。

以下に示す方法でコントロール線を見つけて下さい。

- ① 検電器を用意してください。
- ② 検電器のクリップをボディアースに接続します。
- ③ 検電器の検電針をテストする線にあてます。
- ④ 検電した線が正しい線であれば、車のライトスイッチをスモールにした時に、スモールランプが点灯すると同時に、検電器の確認ランプが点灯します。
※照度調整つまみ装着車の場合には、つまみを操作することで見つけた線が影響を受けないか確認します。
- ⑥ 見つけた配線に本製品の黄線を接続します。

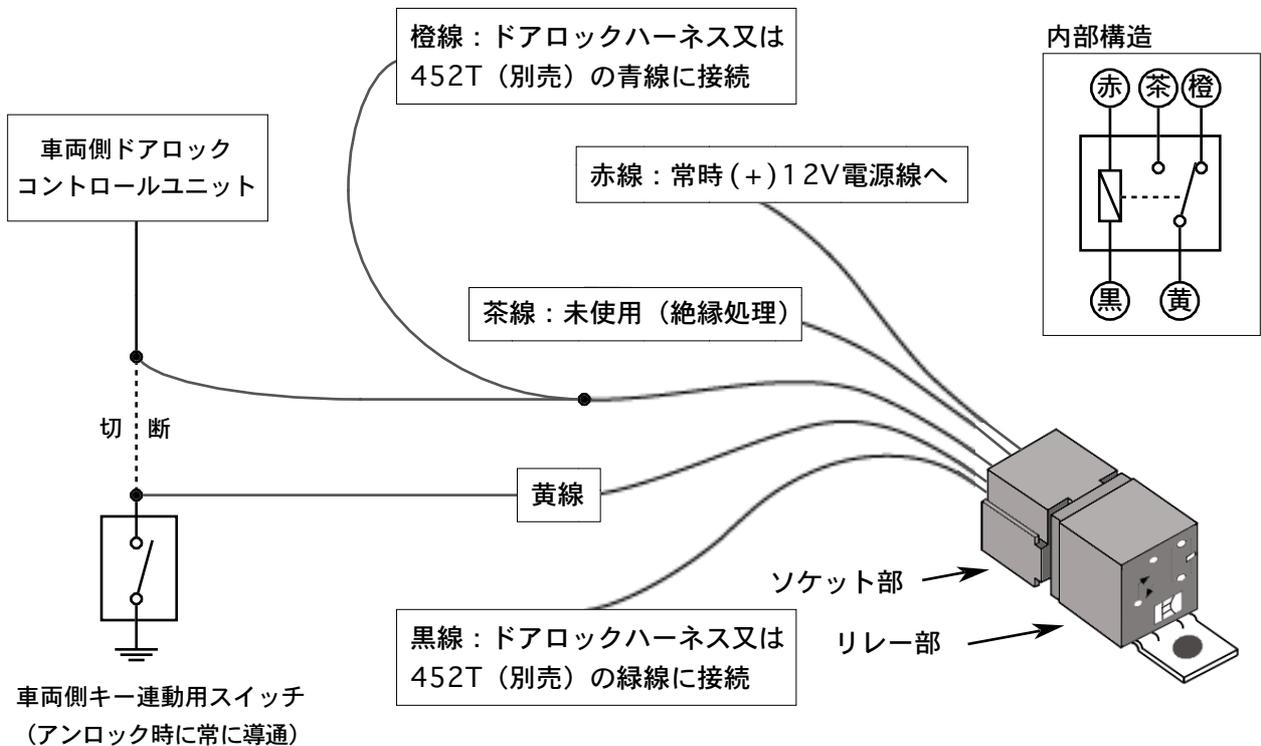
注意

- 本製品の取り付けに際し、他の機器、特に駆動部の妨げにならないように注意してください
- 車両のスモールランプが(-)コントロールの場合、本製品は必要ありません。
- (+)コントロール線は、車両内に数カ所ありますが、位置によっては本製品の黄線を接続した場合でも、前後すべてのスモールランプが点滅しない場合があります。

【525T 単線方式専用リレー説明書】

本製品を単線方式専用リレーとして使用する場合、セキュリティのリモコンでタイプF（単線）方式を採用している車両のドアロック連動をおこなうことができます（使用するメインユニットによっては別売の452Tが必要です）。

信号系統図



取付位置について

運転席側のキックパネルを外し、ドアロックの単線方式用の制御線を探します。制御線を切断することで、車両ドアロックがロックすることを確認してください。切断したそれぞれの線に本製品の橙線と黄線を接続します。

本製品はキックパネル内などに確実に固定してください。



単線方式のドアロック信号の見つけ方

単線方式のドアロックの制御線は通常キックパネル内のドアからのハーネスにあります。

- ① 検電器を用意してください。
- ② 検電器のクリップをボディアースに接続します。
- ③ 検電器の検電針をテストする線にあてます。
- ④ テストした線が正しい線であれば車のドアがアンロックします。
- ⑤ その線を切断することで、ドアがロックすることを確認してください。

注意

●本製品の取り付けに際し、他の機器、特に駆動部の妨げにならないように注意してください。